

## サンマ幼魚採集用フレームネットの開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中神, 正康 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012423">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012423</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



# マダラの生活史把握と資源変動要因

## 研究の背景・目的

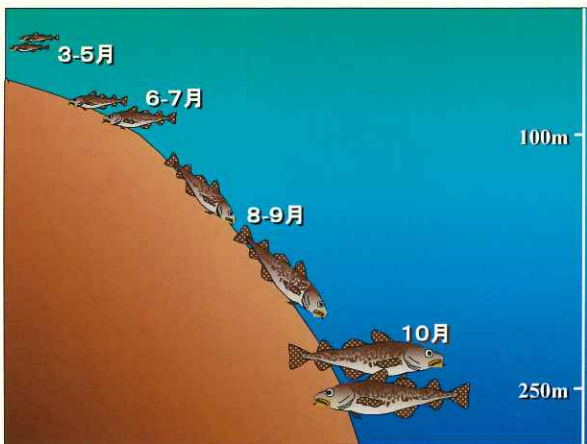
1. 東北海域において、マダラの資源量は大幅に減少している。
2. 資源変動要因を調べるために生活史を把握し、資源の増減が起きる成長段階を同定することが必要である。

## 研究成果

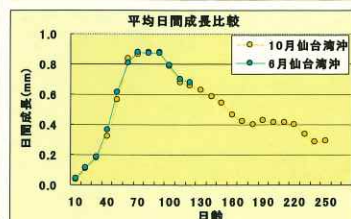
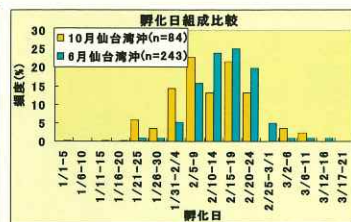
1. ふ化から3-4ヵ月後に着底し、5-6月に移動していた。
2. 成長は着底直前に最も早くなり、着底後徐々に遅くなっていった。
3. 0歳魚の生き残りが良かった年では、着底後の資源量の減少が起きていなかった。

## 波及効果

1. 資源変動の鍵となる成長段階の同定が可能となり、資源変動の予測が容易になる。
2. 将来の資源評価に利用し、適切な資源管理が可能になる。



東北海域のマダラ0歳魚の移動パターン



仙台湾沖で6月と10月に採集されたマダラ0歳魚の成長比較